

沼田市公共施設等総合管理計画 (案)



平成 29 年 月

沼 田 市

目 次

全体概要（要約）	1
第1章 計画策定の背景と目的	2
1.1 背景と目的	2
1.2 計画の位置づけ	3
1.3 対象施設	4
第2章 本市の現状	6
2.1 公共施設等の現況	6
2.2 人口の現状と課題	12
2.3 公共施設等の将来における更新費用の推計	14
2.4 財政状況と課題	16
2.5 市民ニーズ	19
第3章 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針	20
3.1 計画期間	20
3.2 公共施設等を取り巻く問題点（現状や課題に関する基本認識）	20
3.3 公共施設等の課題	21
3.4 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針	22
3.5 目標の設定	24
3.6 基本方針を推進するための実施方針	25
第4章 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針	27
4.1 公共施設	27
4.2 インフラ	76
第5章 公共施設マネジメントの推進体制	78
5.1 全庁的な取組体制の構築	78
5.2 情報管理	78
5.3 情報共有	78
5.4 フォローアップの実施方針	79
参考 公共施設の統廃合による財政的効果の検証（シミュレーション）	80

全体概要（要約）

■本市では多くの公共施設等を保有しており、老朽化も進行しています。

特に公共施設は、総数 341 施設・総床面積約 30 万㎡を保有しており、一人当たりの面積規模は、産業構造や人口規模が類似する全国の市の平均と比較して約 5 割多い状態にあります。老朽化も進行しており、10 年後には大規模改修の目安となる建築後 30 年を経過した建物は全体の約 9 割にも上るとみられています。

■人口や財政に目を移すと、厳しい現状が浮かび上がります。

人口推計では、平成 27 年度時点で約 5.1 万人であった人口は 40 年後の平成 67 年度には約 2.3 万人となり約 55%も減少し、このうち二人に一人が高齢者になっていると予想されています。

財政に関する推計では、現在保有する全ての公共施設に対する大規模改修及び更新に要する資金は今後 40 年間で約 3,000 億円（約 76 億円／年）と推計されます。こうした公共施設等の改修や更新のための現状の予算は約 18 億円／年であり、今後 40 年間にわたり同額を確保できたとしてもなお大幅に足りない水準にあることがわかります。

■沼田市公共施設等総合管理計画を策定します。

このような状況を打破するため、「新しい公共施設のかたちを未来へつなげよう」という基本理念に、基本的な方針として「1. 施設の長期活用」、「2. 施設の機能や規模の最適化」、「3. ライフサイクルコスト（LCC）の縮減と更新投資の平準化」の 3 点を設定する沼田市公共施設等総合管理計画を策定しました。

■持続可能な財政運営を実現するためには、現在保有する公共施設等の長寿命化や運営の効率化、民間資金等の活用などの施策に加え、総量削減も避けては通れない状況にあります。

本計画では、人口や財政、大規模改修・更新費用の推計結果に基づき、40 年後に公共施設等の総量を現在に比べ 6 割にする（建物の床面積を 40%削減する）、という目標を掲げました。インフラについてはその性質上総量削減の数値目標は本計画では設定しませんが、公共施設と同様にこのたび定めた 3 つの方針に基づき総合的かつ計画的な管理を推進していきます。

公共施設等は市民生活を支えるためのものであり、公共施設等を支えるために市民のみなさんの負担が増えることは本末転倒であり、また、次世代において、公共施設のあり方を選択する自由度を大きく制約させるわけにはいきません。

今後は、この計画の考えに沿った具体的な取り組みをまとめ、将来の沼田市を見据えた総合的な視点で、公共施設の最適化に向けた取り組みを進めていきます。